

ハンドボー



日本ハンドボール協会公式記録用紙

No 40

No. B1

(16名用)

スロオファーム 北海道

A	長崎県	北海道	B
合計	30	15-7 15-7	14

大会名	第67回国民体育大会 弘道清流国体		
平成24年10月5日(金)	場所	飛騨 世界生活文化センター	
種別	少年	男(女)	回戦 第1回戦 準決 決 リーグ

A 甲斐新一朗 7mTC 穴井裕幸 B

A 長崎県	警告	退場	失格	チームタイムアウト		合計
				前半	後半	
役員A 甲斐 新一朗						
役員B 金子 慎吾						
役員C 窪口 比呂						
役員D						
1 西町 美里						
2 谷脇 薫						
3 田中 真理乃						
4 永田 美香						
5 川久保 恵理						
6 矢野 愛美						
7 吉野 明日香						
8 草場 真帆						
9 山中 みなみ						
10 菅田 穂						
11 平田 瑛里						
12 三好 涼華						
合計				15	15	30

B 北海道	警告	退場	失格	チームタイムアウト		合計
				前半	後半	
役員A 穴井 裕幸						
役員B 小林 礼						
役員C 島田 昭三						
役員D						
1 佐藤 由花						
2 松本 愛里						
3 長内 優実						
4 佐々木 春海						
5 本野 綾華						
6 赤羽 早紀						
7 野田 東莉						
8 宇佐美 瑠衣						
9 塚本 萌子						
10 竹林 千穂						
11 七崎 琴美						
12 児玉 電子						
合計				7	7	14

タイムキーパー 加藤 彩輝 スコアラー 肥田 彩花

マッパイン 内藤 兵 審判員 角 直樹 審判員 川崎 裕隆

前半					後半				
背番	結果	得点	時間	得点	背番	結果	得点	時間	得点
9	W	1	0:51					0:47	W 6
11		2	2:26		2		16	1:13	
			3:20	1	10			1:48	8 0 7
7	0	3	5:22		3	S	2	2:26	
			6:31	2	11		17	3:32	
7		4	7:15		9		18	6:08	9 11
			7:51	3	6		19	6:40	
9	W	5	10:01					8:25	10 6
7		6	11:17					9:39	11 11
2		7	12:03		3		20	10:28	
11		8	14:13		10		21	13:21	
			14:34					15:45	12 4
			18:24	4	9			16:55	W 4
9	S	9	18:26		10	0	22	17:09	
10		10	20:06					20:00	13 7
3		10	21:35		10		23	21:33	
3	W	11	22:01		10	0	24	24:00	
4		12	23:01		10		25	25:06	
4		12	25:09		7	0	26	25:53	
			28:30	5	5		27	26:27	
8		13	25:50		10		28	27:19	
7		14	26:18		4		29	28:43	
7		15	27:11					28:53	10
			27:38	6	9		30	29:30	
			29:21	7	7			29:52	14 11

15-7

15-7

30-14

特記事項

ハンドボール

結果報告 No.41

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月5日(金)	試合記号	Bイ	回戦	1回戦
種別	少年女子	会場	飛騨・世界生活文化センター		
A(都道府県名)			B(都道府県名)		
長崎県			北海道		
得点合計	小計		小計	得点合計	
30	15	前半	7	14	
	15	後半	7		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【戦評】

記載者氏名 舟橋 高

1回戦、どちらのチームも初戦ということもあり、緊張した表情の中試合は始まった。序盤8分を過ぎた時点で、4対3で長崎県がリードしつつも両チームとも相手の出方をうかがうような試合展開となった。試合の流れが変わったのは、10分過ぎ、長崎県7番吉野の速攻が決まってからである。そこからさらに、3連続得点を重ね8対3となった所で、北海道が14分にタイムアウトを取る。その後20分過ぎるまで互いに1点ずつ取るがしばらく流れは止まる。再び試合が動き始めたのは、21分長崎県3番田中のポストシュートが決まると、サイドからのシュートや速攻を交えた攻撃で得点を重ねる。北海道も170cmの長身七崎を中心に攻撃を組み立てるが、長崎県のディフェンスに守られなかなか得点することができず15対7で長崎県リードで終了。

後半、両チームとも、ディフェンスからの速攻を中心に攻撃を組み立て、序盤は点の取り合いになる。中盤から終盤にかけてセットプレーで6-0で隙間を開けないディフェンスは北海道の切込みを許さず、7点に失点をおさえ30対14で勝利した。